

オックスフォード大学出版局（OUP）、日本で画期的な Read & Publish 契約を発表

大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）との合意により、
日本の研究者のオープンアクセスでの論文出版の機会を向上

英国オックスフォード、2022年11月17日

世界最大の大学出版局であるオックスフォード大学出版局（OUP）は、日本の主要なジャーナルコンソーシアムである大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）との間で3年間の Read & Publish 契約に合意したと発表しました。

この合意により、JUSTICE の会員館は購読モデルまたは Read & Publish モデルのいずれかを選択して契約することができます。Read & Publish を選択した場合、OUP ジャーナルにオープンアクセスで出版する論文の割合を急速に増やすことができるようになります。また、フル OA 誌の論文掲載料（APC）の割引が受けられるほか、OUP の質の高いジャーナルのフルコレクションに包括的にアクセスすることができるようになります。

OUP にとってこの Read & Publish 契約はアジアで初となる国レベルの合意であり、世界では 30 番目となります。OUP は日本において大規模な出版プログラムを展開しています。OUP ジャーナルに掲載されている論文の著者の約 5% が日本人研究者であり、今回の Read & Publish 契約により参加機関に所属する論文執筆者は OA 出版の機会がいつそう増えることとなります。

OUP の Academic 担当 Managing Director デイビッド・クラーク (David Clark) は今回の合意について、「JUSTICE と転換契約の合意に至ったことを大変嬉しく思います。この新しい Read & Publish 契約を通じて、日本人研究者の皆さまに OUP が出版する卓越したジャーナルコレクションをご利用いただけるだけでなく、ますます多くの研究者がご自身の論文をオープンアクセスで出版できるようになります。」と述べました。

JUSTICE 運営委員会の濱生快彦委員長は「JUSTICE OA2020 ロードマップに沿って、オックスフォード出版局と初めての Read & Publish 契約に合意したことを嬉しく思います。今回の提案が多くの会員館に受け入れられ、日本の研究者が強い関心を寄せているオープンアクセスの進展に大きく寄与することを期待しています。」と付け加えました。

オックスフォード大学出版局（OUP）について

オックスフォード大学出版局（OUP）は、オープンリサーチにおいて世界最大の大学出版局です。OUPは年間 100 誌以上の完全オープンアクセスのジャーナル、200 本以上のオープンアクセス書籍を出版し、500 誌を超えるジャーナルでオープンアクセス出版オプションを提供しています。また、すべての主要分野を網羅する毎月約 2,000 件の OA 論文を出版しています。

オックスフォード大学出版局は、500 年以上の出版経験があり、100 年以上にわたりジャーナルを出版しています。

大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）について

大学図書館コンソーシアム連合（Japan Alliance of University Library Consortia for E-Resources：JUSTICE）は、日本の大学における教育・研究活動に必須である電子ジャーナルをはじめとした学術情報を、安定的・継続的に確保して提供するための活動を推進しています。JUSTICE は、電子リソースの契約、管理、提供、保存に係る総合的な活動や、それらの業務に携わる人材の育成等を通して、我が国の学術情報基盤の整備に貢献することを目的としています。JUSTICE は、国公私立大学図書館協力委員会と国立情報学研究所（NII）との間で締結された連携・協力協定のもとで 2011 年に発足しました。現在は 500 を超える会員館を擁する日本最大の図書館コンソーシアムです。
www.nii.ac.jp/content/justice_en

OUP メディア担当：

Georgia Bailey

Georgia.bailey@oup.com